

# 5県合同オンライン研修

## 探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト

東京学芸大学高校探究プロジェクト連携

**わくわく  
チーム**

東京学芸大学高校探究プロジェクト・広島県立教育センター  
青森県総合学校教育センター・鳥取県立教育センター  
大分県教育庁高校教育課・沖縄県立総合教育センター

### 探究的な学びについて

地域を超えて学び合い、“わくわく”や“もやもや”を共有しませんか？



第4回 テーマ  
一歩先を目指す！  
学校教育における探究の実装化

令和8年1月29日（木）実施



**研修報告**

第4回は、学校現場で探究活動を根付かせるために、教員にとって必要な視点や役割について考えました。研修中での東京学芸大学・西村圭一教授と藤村祐子准教授の講話を通して、これからの時代を生き抜く力を子どもたちに育むために、教員がどのように関わる必要があるのかを考え直す、大変有意義な研修となりました。

参加者は、4人程度で一つのグループとなり、  
下記のワークシートを用いながら探究活動の  
実装化に向けて話し合いました。

- アイズブレイク  
「あなたが思い描く2040年の学校の姿(理想の未来)は？」  
→2040年の学校(理想の未来)の姿を思い描くことを通して、参加者の本音やわくわく感情を引き出す。
- ワーク1  
「教科や総探で育成したい力と教師の役割とは何か？」  
→教科・総探で育成したい力と教師の役割をイメージすることを通して、参加者自身の現在地を把握するとともに、一人一人の前向きな思いや願いを引き出し、共有する。
- ワーク2  
「探究の実装化に向けて、わたしたちができることは？」  
→探究の実装化に向けて、学びの場づくりを自分事として捉え、「やってみよう」「学校で試してみよう」と前向きに参加者の勤務校の学びを更新しようとする。
- わくわく宣言  
「明日からできるアクションを一人一人みつけよう！」  
→明日からできる一人一つのアクションを見つけ、「やってみよう」「学校で試してみよう」と一歩踏み出すきっかけとする。

## 次年度予告

次年度も全4回で開催することが決定しております。開催日程・内容は調整中ですが、参考までに今年度の日程を以下に掲載します。また、今年度は青森県内から延べ14名の先生方にご参加いただきました。参加された先生方、お忙しい中ありがとうございました。来年度は、今年度以上に多くの方が参加していただけるように、企画・運営に力を入れてまいります。多数のご参加をお待ちしております。

(参考) 令和7年度の開催日程・内容

- 第1回 6月20日(金)  
「今だからこそ再発見！本音で探究トーク」
- 第2回 8月26日(火)  
「実践発表あり！探究文化を根付かせる総探」
- 第3回 10月23日(木)  
「実践発表あり！問いたい問いを問う教科における探究」
- 第4回 1月29日(木)  
「一歩先を目指す！学校教育における探究の実装化」  
※全日程13:30～16:30で実施

実践発表から得た学びや気づきをどのように生かす？  
～参加者のワークより～ ※ほんの一部だけです(涙)

### アイズブレイク

- ・子ども、先生が「いきいき」している学校でありたい
- ・今以上に人とのかかわりや対話が重視される世の中になっているのでは
- ・未知の課題に対して多様な他者と協働することの必要性が増している？

### ワーク1

- ・自身の「わくわく(興味を持ったこと)」を仲間の「わくわく」へ
- ・教員自身がわからなくても、わかる人に生徒をつなげる役割
- ・教科の学び(探究)を社会に活かせるように導きたい

### ワーク2

- ・探究、共創の仲間作り、チーム作り
- ・教師と生徒の目線合わせからもう一歩進んで、「呼吸合わせ」
- ・活動を終わらせず、常に改善、引き継ぎ、工夫し続ける

### わくわく宣言

- ・何を狙いたいのか、目的を教職員で話し合う
- ・「なぜ？」と考えさせる教員の意識を持つことを大切にしたい
- ・教員も問いを持ち、生徒とともに悩み、悩みの内容を可視化させる